

ニュースガイド

- 2面 笹川科学研究助成対象に板倉さん橋川さん/今井さん柄澤さん最優秀賞/中川助教と3学生に感謝状/荒井主席研究員が宇宙飛行士と直接交信
3面 平成30年度予算案を承認
4面 新任紹介/大学案内2019年版が完成/クラブの活動状況

「はやぶさ2」講演会

PERC 津田 ISAS 准教授を招き

小惑星リュウグウに到達迫る



「宇宙工学への挑戦～はやぶさ2のすべて……」の講演会。左上は津田氏

「はやぶさ2」が6月21日～7月5日の間に目指す小惑星「リュウグウ」に到達する見通しになったことを受けて、惑星探査研究センター(PERC)は4月21日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所(ISAS)の津田雄一准教授(はやぶさ2プロジェクトマネジャー)を特別講演者に招いて「宇宙工学への挑戦～はやぶさ2のすべて」を工学の視点から切り拓く」と題した講演会を開催した。

「はやぶさ2」は2014年12月3日に打ち上げられた。PERCは同プロジェクトにスタート当初から関わり、搭載されているほぼ全ての観測機器の開発と科学的検討に研究員が参加している。そうしたPERCの活動を多くの在学生に知ってもらう、さらに総合工学である宇宙工学を通して工学全般への見識と、「はやぶさ2」の実際を通してプロジェクトマネジメントについての理解を深めてもらうというのが講演会の狙い。会場の津田沼校舎2号館大教室では本学学生のほか、PERCのホームページやSNSなどで開催を知った一般市民や高校生など約1500人が熱心に耳を傾けた。津田准教授は東大大学院修士課程時代に挑戦し

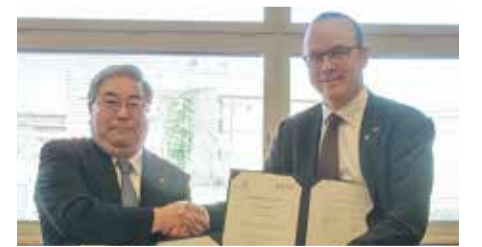
クールビズ実施中



5月1日～9月30日

ルンド大と交流協定

小宮仁学長は4月19日、スウェーデン南部スコーネ県ルンド市のルンド大学(工学部)を訪れ、本学との交流協定を締結した。ルンド大は1666年、同国で2番目に古く創設された名門公立大で、物理・生化学などで4人のノーベル賞受賞者を輩出している。本学との海外交流協定校はこれで17カ国・地域の37大学となった。(写真は握手を交わす小宮学長とルンド大のオワール工学部長)



方向・速度を割り出す...など。なかでも最大の山場は、爆薬で打ち出した金属製の弾丸を秒速2キロで衝突させて「リュウグウ」の表面にクレターを作り、内部の土などを採取する実験。この試料を地球に持ち帰ることができれば、人類が初めて手にする、太陽系の起源に迫る貴重な情報が得られると期待されている。この「リュウグウの内部をのぞく」窓を作る衝突装置(SCI)を筆頭に、クレターができる瞬間を観測する分離カメラ(DCAM3)▽レーザー高度計(LIDAR)▽含水鉱物を見つめる近赤外線分光計(NIRS3)▽光学航法カメラ(ONC)の開発と科学的検討にPERCが関わっている。

南鳥島に大量レアアース泥確認 海洋資源研など成果

容量350リットルの缶サットを手始めに、10立方メートルの缶サットの世界初打ち上げ、太陽風を受け止めるソーラーセイルの宇宙空間での展開と、その技術を使った宇宙ヨット「イカロス」の宇宙空間全航行など、数々の「世界初」を成し遂げてきた。さらに小惑星「イトカワ」からの世界初のサンプリング(試料回収)に成功した「はやぶさ」初号機のプロジェクにも加わった。現在は外国人を含む科学者と技術者約600人を率いているという津田准教授は、講演でこれらの経験を披露した後、プロジェクトを成功させるマネジメントの要点を次のようにまとめた。

▽組織をコンパクトに保つ▽できる人、「やりたい」と思っている人との関わりを紹介した。

「はやぶさ2」は「リュウグウ」に到達した後、約1年半かけてさまざまな観測を行い、小惑星の姿を明らかにしていく。例えば高度を変えながら数キロまで接近してカメラで撮影し、立体地図を作り、重力や自転の

「はやぶさ2」は「リュウグウ」に到達した後、約1年半かけてさまざまな観測を行い、小惑星の姿を明らかにしていく。例えば高度を変えながら数キロまで接近してカメラで撮影し、立体地図を作り、重力や自転の

将来的には50倍以上の品位を目指すという、再生可能エネルギー技術やエレクトロニクス、医療技術分野などの最先端産業の発展に大きく貢献すると期待されている。成果は4月10日付の英科学誌サイエンスフィックス・リポートに掲載された。

電気自動車や携帯電話のモーター用磁石に使われるレアアース(希土類)が、小笠原諸島・南鳥島(東京都)周辺の排他的経済水域(EEZ)の海底に大量にあることが分かった、と千葉工業大学次世代海洋資源研究センター(ORCENGII加藤泰浩所長)、早稲田大、東京大、海洋開発機構などの研究グループが4月10日、発表した。

産業上重要なジスプロシウムやテルビウム、ユウロピウム、イットリウムなどで総計1600万トンを超え世界需要の数百万分に相当するという。グループには東工大、神戸大、東亜建設工業(株)、太平洋セメント(株)も参加。2013～15年に海洋研究開発機構の調査船で南鳥島沖約2500平方キロの海域を探索した。その結果、特に北西の

一角に極めて高濃度のレアアースを含む泥(レアアース泥)の存在を確認するなど、対象海域が莫大なレアアース資源ポテンシャルを持つことを確認。資源分布を可視化し資源量を把握することに初めて成功した。さらに、レアアース濃集物の高効率な選鉱技術を検討し、確立したという。レアアースは現在、生産量の8割を中国が占め

OPEN CAMPUS 2018 6.17 SUN 6:00-18:00 千葉工業大学

18年度 笹川科学研究助成

板倉さん、橋川さんの研究に

公益財団法人日本科学協会(大島美恵子会長)が運営する2018年度笹川科学研究助成に、板倉真博さん(機械サイエンス専攻修士2年、小澤俊平研究室)と橋川直人さん(生命科学専攻修士1年、島崎俊明研究室)の「半導体Si-Ge融体の表面張力に対する雰囲気酸素分圧の影響」が選ばれる。



助成が決まった板倉さん(左)と橋川さん

4月27日、東京・赤坂のANAインターコンチネンタルホテル東京で開かれた研究奨励の会で決定通知書が手渡された。2人の研究内容と感想は次の通り。

● 板倉 真博さん

新しい半導体として期待されるSi-Ge(シリコンゲルマニウム)の単結晶成長プロセスの最適化や現象解明に関するもの。

南房総市は3月、情報ネットワーク(NS)学科の中川泰宏助教と同学科の学生3人に対し、学校外教育サービス利用助成事業の処理システムを無償で開発してくれたとして教育長感謝状を贈った。

中川助教と3学生に感謝状

南房総市 塾通い助成業務をICTシステム化

同市は小学5・6年生の塾通い(スポーツ教室を含む)に、一部費用を助成している。その処理業務が煩雑だったが、中川助教の指導のもと、NSの学生3人が作業をICT(情報通信技術)システム化し、事務負担を大幅に軽減した。



感謝状を手にした(左から)中川助教、今井さん、橋川さん、板倉さん、薩摩さん

助教手続は職員が保護者申請の助成券1枚1枚を手作業で確認し、表計算ソフトに書き込み管理していた。中川チーム提案のシステムは、助成券の登録番号や名前をスキャナーで読み込んでPCで一括管理する。これにより担当職員の作業時間

宇宙飛行士と直接交信

荒井首席研究員 幕張で「千葉工大ウィーク」

「メテオのハードディスク(HDD)を交換していただき、ありがとうございます」という荒井朋子PERC首席研究員IIの写真中央IIのこやかな呼びかけに、「ISS(国際宇宙ステーション)の窓を使って地球に落ちていく流星を観測するメテオの研究、素晴らしいアイデアだと思います」と金井宣茂宇宙飛行士の爽やかな声が返ってくる。

テレビ有料衛星放送のWOWOWとFuture Tech Hub(日本初)というVR/AR特化型起業支援施設)は3月31〜4月1日、WOWOWの公式キャラクター「ウーとワー」をXRの世界で活躍させてみよう!と呼び掛けたハッカソンを東京都中央区のFuture Tech Hubで開催。本学の今井駿汰さんと柄澤勇弥さん(いずれも情報ネットワーク学科4年)の2



柄澤さん(左)と今井さん

人チームが発表した「AR技術を活用した新しい、親子で可能な体験コンテンツの作成」が最優秀賞に選ばれ、トロフィーと賞金15万円を獲得した。ハッカソンはHack(コ

「メテオのハードディスク(HDD)を交換していただき、ありがとうございます」という荒井朋子PERC首席研究員IIの写真中央IIのこやかな呼びかけに、「ISS(国際宇宙ステーション)の窓を使って地球に落ちていく流星を観測するメテオの研究、素晴らしいアイデアだと思います」と金井宣茂宇宙飛行士の爽やかな声が返ってくる。

井宇宙飛行士にやってもらっている。そのお礼を言った後、荒井首席研究員が「宇宙から見た流星は、金井さんの目にはどのように映りましたか?」と問いかけると、金井宇宙飛行士は「メテオカメラが取り付けている窓は宇宙ステーションの床側にあるので、私たちは地球を見るときは上下逆さまになって、窓に頭を突っ込んで、あたかも見上げるような格好になっています。ですから流星も頭の上のほうで光っているのが見えるのです」



GWさなかの5月2日、幕張新都心と地上400mを周回する国際宇宙ステーションの間で、荒井さんと金井さんが初めて対話し、宇宙と地上の距離を感じさせないク

千葉工業大学 平成30年度予算

資金収支

(単位：円)

収入の部			
科目	平成30年度予算	平成29年度予算	差異
学生生徒等納付金収入	13,600,000,000	13,750,000,000	△ 150,000,000
手数料収入	300,000,000	354,800,000	△ 54,800,000
寄付金収入	95,000,000	100,500,000	△ 5,500,000
補助金収入	930,000,000	715,000,000	215,000,000
資産売却収入	0	90,200,000	△ 90,200,000
付随事業・収益事業収入	500,000,000	682,000,000	△ 182,000,000
受取利息・配当金収入	340,000,000	319,000,000	21,000,000
雑収入	300,000,000	273,500,000	26,500,000
前受金収入	4,900,000,000	4,907,700,000	△ 7,700,000
その他の収入	3,228,000,000	16,431,800,000	△ 13,203,800,000
資金収入調整勘定	△ 5,157,700,000	△ 5,211,300,000	53,600,000
前年度繰越支払資金	8,911,700,000	8,402,100,000	
収入の部合計	27,947,000,000	40,815,300,000	△ 12,868,300,000

支出の部			
科目	平成30年度予算	平成29年度予算	差異
人件費支出	7,243,000,000	7,178,000,000	65,000,000
教育研究経費支出	3,877,000,000	4,193,500,000	△ 316,500,000
管理経費支出	1,089,100,000	1,219,600,000	△ 130,500,000
施設関係支出	714,000,000	1,972,200,000	△ 1,258,200,000
設備関係支出	812,600,000	728,300,000	84,300,000
資産運用支出	4,000,000	14,081,700,000	△ 14,077,700,000
その他の支出	2,750,000,000	2,915,900,000	△ 165,900,000
[予備費]	200,000,000	0	200,000,000
資金支出調整勘定	△ 400,000,000	△ 385,600,000	△ 14,400,000
翌年度繰越支払資金	11,657,300,000	8,911,700,000	2,745,600,000
支出の部合計	27,947,000,000	40,815,300,000	△ 12,868,300,000

事業活動収支

(単位：円)

教育活動収支			
科目	平成30年度予算	平成29年度予算	差異
学生生徒等納付金	13,600,000,000	13,750,000,000	△ 150,000,000
手数料	300,000,000	354,800,000	△ 54,800,000
寄付金	95,000,000	100,700,000	△ 5,700,000
経常費等補助金	900,000,000	715,000,000	185,000,000
付随事業収入	500,000,000	682,000,000	△ 182,000,000
雑収入	300,000,000	272,600,000	27,400,000
教育活動収入計	15,695,000,000	15,875,100,000	△ 180,100,000
人件費	7,243,000,000	7,178,000,000	65,000,000
教育研究経費	6,604,500,000	6,936,900,000	△ 332,400,000
(内、減価償却額)	2,727,500,000	2,743,200,000	△ 15,700,000
管理経費	1,740,100,000	1,870,300,000	△ 130,200,000
(内、減価償却額)	651,000,000	670,700,000	△ 19,700,000
教育活動支出計	15,587,600,000	15,985,200,000	△ 397,600,000
教育活動収支差額	107,400,000	△ 110,100,000	217,500,000

教育活動外収支差額	340,000,000	319,000,000	21,000,000
経常収支差額	447,400,000	208,900,000	238,500,000
特別収支差額	28,000,000	174,300,000	△ 146,300,000

基本金組入前当年度収支差額	475,400,000	383,200,000	92,200,000
基本金組入額合計	△ 216,900,000	△ 1,338,300,000	1,121,400,000
当年度収支差額	258,500,000	△ 955,100,000	1,213,600,000
前年度繰越収支差額	△ 7,752,900,000	△ 6,797,800,000	△ 955,100,000
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 7,494,400,000	△ 7,752,900,000	258,500,000

事業活動収入計	16,065,000,000	16,388,700,000	△ 323,700,000
事業活動支出計	15,589,600,000	16,005,500,000	△ 415,900,000

①【教育活動収入】
157.0億円(前年度158.8億円) 昨年度比1.8億円減
学生納付金は前年度比微減の136.0億円とし、全体では1.8億円程度の減少を見込んでいます。

②【教育活動支出】
155.9億円(前年度159.9億円) 昨年度比4.0億円減
①人件費は、退職金が減少するが、研究員・業務教員等の増加により7千万円の増加を見込む。

③【教育活動外収支】
107.4億円(前年度110.1億円) 217.5億円増
④管理経費は、マイナスリンクにより業務の効率化や経費の圧縮に努め、1.3億円の減少を見込む。管理経費比率は10.9%(前年度11.5%)である。

④【特別収支】
特別収入は施設設備補助金で3千万円を計上した。特別支出の予定はほとんどない。

⑤【基本金組入額】
4.8億円(前年度4.8億円) 昨年度比0円
⑥【基本金組入額】
2.2億円(前年度1.4億円) 昨年度比0.8億円増
⑦【基本金組入額】
8.4億円(前年度8.4億円) 昨年度比0円

⑧【収支差額】
以上の結果、当年度収支差額は2.6億円の収入超過、前年度繰越収支差額は77.5億円のマイナスであるので、翌年度繰越収支差額は74.9億円の支出超過となる予算である。

⑨【収支差額】
組入額△6.2億円
組入額△6.2億円
⑩【収支差額】
組入額△6.2億円
組入額△6.2億円
⑪【収支差額】
組入額△6.2億円
組入額△6.2億円

3月28日、東京カーテンパレスで開かれた本学理事会・評議員会で、平成30年度予算案が承認された。

高等教育を取り巻く環境
わが国では、平成30年を境に受験年齢である18歳人口が本格的に減少に転じ、2031年には現在の120万人前後から100万人を下回る事が想定されている。さらに、東京一極集中が進むことにより、地方経済が衰退し、地方の私立大学が破綻危機に陥ることも予想され、結果として全国の大学に影響をきたすとも言われている。

現在、私立大学の約4割が定員割れの状態にあり、財務省は定員割れが続く私立大学について、補助金の減額及び停止の検討を開始している。補助金の分配見直しにより経営改善や教育の質向上を目指す、教育の「成果」に応じた配分とする方針となっている。

これらの社会情勢の変化を踏まえ、大学の淘汰に打ち向かうには、新たな施策や教育環境の充実をはかることにより、大学のプランディング化を一層進めることが重要な時代と言える。

創立76年目を迎える今年度も引き続き、創立100年に向けての取り組みを積極的に行う。未来ロボット技術研究センターでは、大成建設株式会社と共同で、自動で鉄筋結束する自律型鉄筋結束ロボット「J-Robo Rebar」を開発した。さらに、産学連携による技術開発を目的にパナソニック株式会社と連携し「パナソニック・千葉工業大学産学連携センター」を設立した。

惑星探査研究センターでは、ISS流星観測プロジェクトMETEOR「による流星群の測光・分光観測、来年度小惑星Ryuguに到着予定の探査機はやぶさ2の観測機器開発論文執筆および運用解析訓練実施、気球による成層圏微生物採取プロジェクト「Biopause」による放球実験実施、JAXA宇宙科学研究所の連携拠点として採択された、小惑星フェイトン探査ミッション「OSIM」の開発を軸に人材育成と探査機器開発基盤の構築に取り組みなど、積極的に活動している。また、火星への無人探査機打ち上げ計画を進めているアラブ首長国連邦(UAE)の2大学の宇宙科学教育を、本学が日本の大学グループを組織して支援することになった。

さらに、人工知能・ソフトウェア技術研究センター、国際金融研究センター及び次世代海洋資源研究センターの設置により先端研究の領域はさらに拡がりを見せている。

本学の一般入試志願者動向は、工学部改組、教育研究体制の充実、入試制度の改革、積極的な広報展開、キャンパス再開などの取り組みによって引き続き増加傾向にある。平成30年度入学生試験では過去最高の志願者数となり、志願者総数では全国10位となった。

研究の目的を踏まえ、「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)を一貫性あるものとして策定し公表することが義務付けられている。

本学では、学部及び大学院において従前よりこれら3つのポリシーを定め、自己点検及び第三者評価を通じて教育の改革・改善に取り組んできたが、この3つのポリシーの一貫性については継続的に評価を行い、更に各ポリシーに教育研究活動が合致したものになっているかどうかの評価を行い、必要な場合はこれらを見直し新たな計画を策定することによって全学

的な体制の下でPDCAサイクルを機能させる。工学部の改組に伴い抜本的な見直しを行った新たな教育課程については、中央教育審議会答申等で示された学士力の養成、すなわち知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、総合力・創造力を養うことを念頭に、能動的学修(アクティブラーニング)やインターンシップなど主体的な学びも多く取り入れて構成されており、教養教育・専門教育を通じて教育課程の体系化、単位の実質化を実現している。

教育方法の改善については、「FDフォーラム」、「FD講演会」を開催するなど、FD(ファカルティ・ディベロップメント)の継続的な推進を図る。さらに、SD

平成30年度は、前年度飯運用を開始した教員ポインタシステムを正式運用し、教員の教育力・研究力・社会貢献力の評価に積極的に利用する。

指定校推薦入学制度の導入による工業高等専門学校との連携強化により、学部3年次の編入学生の数は2015年から3年間で3倍に増加している。

国際化については、今後も引き続き海外のトップクラスの大学との交流を推進する。さらに高大接続の教育連携についても引き続き検討し、具現化に向けた施策を実施する。

大学院においては、本学附属の各研究所等と連携した教育・研究体制を充実させるとともに、留学生も含めた学生数の増加を図る。

留年者や退学者の抑制策については、追加的な補習授業の実施や再試験制度及び仮進級制度の導入により、授業の到達目標や評価基準を維持しつつ、留年者及び退学者の減少に効果をおよぼしている。

後も引き続き海外のトップクラスの大学との交流協定を積極的に拡大し、留学生の受け入れ及び本学学生の海外留学ともに増加させる。さらに「小川勉国際交流支援基金」も活用しながら広く留学生を受け入れ、出身国のリーダーとなり得る人材の育成に寄与する。

研究及び産学連携については、「学校法人千葉工業大学産学連携協議会」を通じて活動のほか、研究の活性化と産学連携の強化を推進する。加えて、安全保障貿易管理等についても管理体制の整備を進め、更に充実したコンプライアンス遵守体制の構築を進める。

平成30年度予算案を承認

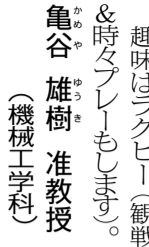
新任紹介 (敬称略)

教員

小笠原 秀人 教授 (プロジェクトマネジメント学科)



みなさん優しくて、オープンな雰囲気がとてもよいです。リズムのよい生活を心がけ、成果と実績を着実に積み重ねていくように、何事にも積極的に取り組みます。趣味はラグビー(観戦&時々プレーもします)。亀谷 雄樹 准教授 (機械工学科)



教職員の方々が労をいとわず心よくご支援くださり、日々感謝の念に堪えません。今後は、学生がのびのびと学び、ぐんぐん能力を伸ばし、自信と誇りと喜びに満ちて卒業できるような、最善を尽くします。東京育ちですが、千葉が大好きです！

橋本 紳一 准教授 (都市環境工学科)



先生方が教育や進路指

導に非常に熱心です。早く職場環境に慣れ、教育・研究活動を通じて学生と共に成長できればと思います。よろしくお願ひします。

興味はスポーツ観戦。藤井 浩光 准教授 (未来ロボティクス学科)



とにかくキャンパスがきれいです。この環境で、私学ならではの研究・教育の実現と楽しい研究室づくりに努めたいと思います。趣味は手拭い収集。齊藤 史哲 准教授 (知能メディア工学科)



キャンパスがきれいで、先進的な印象を受け

ました。真面目な学生が多いのも印象的です。今後は研究・教育を通じて、学生の成長や大学の発展に少しでも貢献できればと考えております。趣味は野球。小松原 洋 上席研究員 (国際金融研究センター)

職員の方々が皆親切で、学生の皆さんも礼儀正しい事や研究施設がとても充実しているのを感じています。ファイナンスは大きな広がりを持つ研究分野です。データ分析手法を活用して、今まで常識だと思われていた政策やビジネス戦略の中に新たな課題を見だしていきたいと考えています。松澤 孝明 研究員 (未来ロボット技術研究センター)



職員の方々が皆親切で、学生の皆さんも礼儀正しい事や研究施設がとても充実しているのを感じています。ファイナンスは大きな広がりを持つ研究分野です。データ分析手法を活用して、今まで常識だと思われていた政策やビジネス戦略の中に新たな課題を見だしていきたいと考えています。松澤 孝明 研究員 (未来ロボット技術研究センター)



一人一人が個性豊かで明るく、時に1つの大きな仕事に対して全員がそれぞれの特色を生かし、歯車のように機能し対処していく、そんな職場です。1日も早く仕事を覚え、大学のため、学生のために職務に励みたいと思います！

職員

斎藤 幹 (入試広報課 事務職員)



一人一人が個性豊かで明るく、時に1つの大きな仕事に対して全員がそれぞれの特色を生かし、歯車のように機能し対処していく、そんな職場です。1日も早く仕事を覚え、大学のため、学生のために職務に励みたいと思います！

大学案内 2019年版が完成



千葉工業大学の最新情報を掲載した「2019大学案内」が出来上がった写真。

千葉工大が「宇宙兄弟」とコラボして4年目。宇宙飛行士を目指す主人公や仲間の姿を通じて

て、学生たちに夢に向かって挑戦する大切さを伝えたいという想いが込められ、インパクトのある表紙となっている。CITの支援力、挑戦力、研究力とさまざまなコンテンツをそろえた大学紹介▽教育内容▽施設▽キャンパスライフ案内▽クラブの紹介——と盛りだくさん。希望者に無料で配布する。

クラブの活動状況

Table with columns: 文化会, 体育会, 期間, 大会・発表会名. Lists various clubs and their activities.

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的ないろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。

趣味はギター弾き語り、映画鑑賞。征矢 慎一郎 (総務部 警備員)



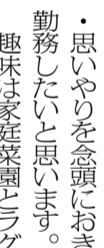
緑豊かな構内で、先輩方はとても明るく、分からないことがあれば懇切丁寧に教えてくださることも働きやすい職場です。趣味はバイク、電子工作。

う前進していきたいと思えます。末吉 健一 (学生センター 警備員)



毎日、1・2年生の明るく爽やかな声が聞こえる新習志野校舎で警備にあたります。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。趣味は野球観戦。関家 伸 (学生センター 警備員)

場です。目配り・気配り・思いやりを念頭におき勤務したいと思います。趣味は家庭菜園とラグビー。



本紙4月15日号1面「入学式」の記事で、ノーベル化学賞受賞者の「福井健一博士」とあるのは「福井謙一博士」の誤りでした。おわびして訂正します。

PPA



右も左も判らずに不安でしたが、PPA副会長として一年、会長として一年務めさせて頂くことができました。これも、瀬戸熊理事長、小宮学長をはじめ、大学教職員の皆様のご指導、ご協力の賜物と感謝しております。ありがとうございます。PPA会長 白川 恒平

四季雑感



「大人になると一年間が短く感じる」小学生の時、担任の先生が言っていた言葉を何気なく覚えていて、ふと思ひ出す。振り返ると、もう5月に入っていた。実際、子どもと大人では心理的に感じる時間の経過に差があるらしく、その理由の

編集だより



私事で恐縮だが、5月15日、本学の開学記念日に永年勤続25年の表彰を受けた。大学の職務も四半世紀。いろいろな方々の協力で、仕事が続けていられるのだと感謝の気持ちでいっぱい。入職した頃の本学は、